

一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

公明党 藤浪 清司 議員

空家対策について

(質問) 本市の空き家の現状と対策、空き家バンクの登録・利用・成約状況、移住促進のため住宅金融支援機構との協定で住宅取得借入金利を引き下げる制度導入について尋ねる。

(答弁) 市内の空き家等の棟数は1,132件で、その内、管理不全空き家等は157件、特定空家等の認定数は39件、空家法に基づいて指導を行った件数は14件。空き家バンクへの登録累

計件数は46件で、平成29年度は2件成約した。購入・借用希望者の登録累計数は66名で、内14名が市外からの登録。「鈴鹿市移住促進パンフレット」を今年度中に作成し、東京・大阪の「三重県移住相談センター」などで配布予定である。子育て支援や、UIJターンに対する住宅ローン【フラット35】は、住宅金融支援機構と協定締結に向け検討していく。

その他の質問 ○投票について

○障がい者の一般就労支援について

無所属 中村 浩 議員

Cバスについてパート22

(質問) 免許返納者に対して無料化の検討はできないか。

(答弁) 本市の「Cバス運行事業」導入時の考え方として、運行経費を運賃収入により、40%程度以上を賄うことができるバス事業を目指すとしていた。

平成26年度定期監査結果報告において、Cバスの料金体系の見直しについて検討されたい

との所見が示された。昨年4月に運賃改定として実施運行当初の初乗り料金100円から200円に改定したところ、運行経費に対する収支率は、平成27年度の29.93%から、平成28年度は37.55%に改善された。厳しい財政状況の中、現在のCバス事業の運営を安定させ、今後も多くの市民の移動手段として利用できるように収益の確保に努める。そのため、運転免許自主返納者に対するCバス運賃の無料化は難しいと考える。

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

自殺防止対策について

(質問) 本市における平成28年度の自殺者数は26名であり、自損による救急出動は、6日に1回の年間61回と深刻な状態が続いている。本市の取り組みについて問う。

(答弁) 昨年より救急搬送された自傷行為の情報の分析や、こころの相談窓口に関するリーフレットを未遂者の手に届くようにした。また、若い年代層を対象とした講演会やメンタル

パートナーの養成講座、「傾聴カフェ」の実施、妊娠初期から出産、子育て期の産後うつや育児ストレスをテーマとした講演会など、市民には年間を通じて啓発活動や取り組みを行っている。また、鈴鹿市自殺対策計画を平成30年度に作成し、その中に数値目標も入れていきたいと考えている。自殺対策には即効性のある施策や事業がないため医療・福祉・労働・地域など関係機関や団体と連携し、今後さまざまな取り組みを継続的に実施していく。

鈴鹿の風 後藤 光雄 議員

公園の草刈りについて

(質問) 市内の公園の草刈りの方法と経費の現況はどのようになっているか。

また、市民の力を合わせ、地域の人が出合えば地域の人が見え、人と人がつながる安全な公園になり、砂埃が立たない芝生化で安心な公園づくりを、地域づくりの一つとして進められる啓蒙活動も含めて進めていくこ

とも一考願いたい。

(答弁) 市が所管する都市公園と緑地・広場は389カ所あり、業務委託、指定管理、自治会やボランティア団体への委託で管理を行い、平成28年度の実績として、公園事業費約3億8,000万円のうち、約5,300万円が草刈りなどの費用となる。

公園の規模や状況・地域の実情などに応じた手法を用い、また、地域の皆様にご協力を賜りながら維持管理を行っていききたい。

その他の質問 ○水素ステーションの活用について